

令和6年度 愛知教育大学入学試験問題

標準的解答例または出題意図及び評価の観点

【前期日程】

科目名： 総合問題（家庭）

<出題の意図>

近年、地球規模で自然災害が多発している。2010年以降でも、トルコ、ネパール、インドネシア、日本の東北地方など、世界の多くの地域で大地震が起こっている。また、ハリケーンや火山噴火、大洪水などの自然災害も、地球規模で発生している。このような自然災害に対する防災の必要性は、今日の世界的な課題となっており、日本においても重要な社会的課題である。

このような背景のもと、防災を考える資料を生活の視点から読み取り、現代の防災に必要な視点を適切に理解し、地域の特性を理解した上で地域防災への方針を考えさせる出題を行った。Iでは、現代の避難所運営に対して、多様性や共生、生活の質の確保が必要であるとの視点が提起された二つの新聞記事を総合的に要約させる。IIでは、A市、B市についての人口及び自然特性の基本情報を示し、それらの情報を理解した上で、A市またはB市いずれかの防災方針への提案について論述させる。I、IIの問題への解答を通して、生活の視点からみた現代の防災に対する理解力、分析力、表現力を問う。

<評価の観点>

- I 2つの新聞記事を読み取り、現代の防災に必要な視点について、総合的に理解し、要約できているかをみる。
- II A市またはB市の基本情報の理解、分析に基づき、資料を適切に用いて、A市またはB市の防災方針について、地域の特性をふまえた上で論述できているかをみる。